

平成18年度 第2回  
桐生市公共工事等入札監視委員会審議概要

開催期日	平成18年12月11日(月)
開催場所	桐生市役所 特別会議室
出席委員	<p>委員長 白田佳充(弁護士)</p> <p>委員長代理 辻幸和(大学教授)</p> <p>委員 市川孝江(税理士)</p>
市側出席者	<p>総務部長、建設部長、都市計画部長、水道局長、市民部参事(清掃担当)、契約管財課長ほか15名</p>
	<p>今回の会議においては、次の事項について審議等が行われた。</p> <p>1. 委員長の互選 前委員長の白田委員を座長に選出し協議の結果、委員長に白田佳充氏、委員長代理に辻幸和氏が選出(いずれも再任)された。</p> <p>2. 抽出結果の報告 今回の抽出当番委員である辻委員から、次のとおり抽出結果の報告が行われた。 (抽出結果報告) (1)平成18年度上半期に発注した工事201件、測量・コンサルタント等の委託29件の中から7件を抽出し、審議の優先順位を付した。 (2)今回の抽出は、入札金額の高い案件の中で、落札率の高いもの、それとは逆に落札率の低いものなどを、担当課のバランスを考えながら7件の抽出を行った。</p> <p>2. 抽出事案の審議 前回、課題となっていた桐生市新里中学校耐震診断業務委託の落札率(85%)の理由、建築士事務所協会との随意契約の理由についての説明を行った後、今回抽出された平成18年度上半期発注の</p>

	<p>工事、測量・コンサルタント等の委託について、7件の審議を行った。審議概要は、下記のとおり。</p> <p>3. 次回の定例会議の抽出当番委員について 白田委員長が抽出することとなった。</p> <p>4. その他 (1)次回会議は、平成19年5月に開催することとし、事務局で日程調整を後日行うこととなった。</p>	
審議概要	委員からの意見・質問	市側の回答
	<p>&lt;委員&gt; 案件審議に先立ち、これまでの2年間の審議を通じて、審議の結果が、どのようなところに反映されているか、次回に報告して欲しい。</p>	<p>&lt;事務局&gt; 次回までに報告したい。</p> <p>&lt;事務局・前回課題となった耐震診断業務委託について&gt; 落札率が85%と、通常の随意契約での落札率よりも低かった原因は、建築士事務所協会では、全国組織の中での算定基準があり、国土交通省が示している人件費単価とは違ったものであると思われることや、延べ業務日数等についても、受注意欲を示すため、短縮しての積算を行ったものと思われる。</p> <p>また、随意契約を行った理由については、都内などの大手の業者であれば入札の実施は可能であるが、協会であれば、協会内の大規模事務所が代表となり、市内業者を参加させることが可能となって、ノウハウを吸収することができる。市として市内業者育成の観点から、建築士事務所協会と随意契約を行った。</p>

	<p>&lt;抽出案件&gt;</p> <p>1. 桐生市清掃センター焼却炉 耐火物補修及びバグフィル ターろ布交換工事</p> <p>(入札方式:随意契約&lt;1社&gt;、 発注担当課:清掃センター、契 約金額 64,050,000 円)</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>落札率(98.65%)が高い。メ ーカーが独占的に工事を実施し ているためか。現在の技術であ れば、他のメーカーを入れて競 争はできるのではないか。メーカ ー間の競争は厳しいので、入札 に参加するのではないか。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>発注期間は、事前に予定でき るので、限られた期間であっても 他の業者への対応は行える。フ ィルター交換は、どこのメーカ ーでも行えるのではないか。基本 的に修繕等は、他のメーカーの ものは遠慮しているという事実 は知っているが、一面では業者 の言いなりになっているシステ ムとも言える。今回の説明だけ では納得するのは難しい。</p> <p>他の業者ではできないという 検討をどのように行ったか、最 低制限価格の算出の根拠はど うか。耐用年数が5年というこ とであれば、そうしたスパンの中 での対応が必要。今後の課題とし</p>	<p>&lt;事務局&gt;</p> <p>清掃センターの焼却炉は、発電設備 を要している特殊なプラントとなっ ている。契約業者は、点検整備も行っ ており、プラントの構造を熟知してい る。限られた工期の中で、他のメーカ ーがきちんとした性能を発揮できるかとい う点からは難しいものと考えている。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>今後、検討・研究いたしたい。</p>
--	---	--

	<p>て、検討・研究して欲しい。</p> <p>2. 凝集膜分離装置整備工事 (入札方式:指名競争入札、発注担当課:境野水処理センター、契約金額:62,790,000円)</p> <p>&lt;委員&gt; 落札率(97.58%)が高いのが気になる。参加できる業者は、7社しかないのか。</p> <p>&lt;委員&gt; この7社を指名した理由は、また、指名に対して辞退した理由はなぜか。</p> <p>&lt;委員&gt; 前回の指名業者とメンバーが変わっていると思うが、その理由はなぜか。</p> <p>&lt;委員&gt; この案件でのことではないが、他市の例もあるので、業者指名の際には地域性などのバランスを十分に考慮して欲しい。</p>	<p>&lt;事務局&gt; 工事費の中では、凝集膜自体の値段が高い。凝集膜のメーカーは3社程度あるが、プラントに合ったものを特注しているので、凝集膜だけを競争等で事前に購入することは難しい。</p> <p>直近の全国的な工事費の状況を勘案する中で、業者の見積りに対して、20%を減額して設計費を積算している。こうした結果もあり、落札率は高くなっている。なお、予定価格では難しいために、2社が辞退したのではないかと考えている。</p> <p>&lt;事務局&gt; 全国的な実績を踏まえて選定した。7社というのは、指名選定要綱に基づき、1,000万円以上の工事は7社以上となっているためである。</p> <p>辞退した2社の辞退理由は、予定価格ではできないとのことである。</p> <p>&lt;事務局&gt; 指名回数等のバランスを考慮して、数社入れ替えた。</p>
--	--	--

	<p>3. 桐生市立西小学校旧校舎改築電気設備工事  (入札方式:指名競争入札、発注担当課:建築住宅課、契約金額:9,135,000円)</p> <p>&lt;委員&gt;  これも落札率(98.63%)が高い。電気工事は、積算はあってもそれほど細かい積算ではないと思う。やり方によっては安くできるのではないか。B等級の業者は6社しかないのか。A等級の業者も入れたらどうか。</p> <p>&lt;委員&gt;  市内業者のランクづけは、どうやって行っているか。</p> <p>&lt;委員&gt;  入札の結果を見たかぎりでは、本当に真剣に積算をしているのか疑問に感じる。指名業者を公表している中では、だれが競争相手かわかる。参加業者数を増やすなど、工夫が必要だと感じるがどうか。</p> <p>&lt;委員&gt;  競争の機会を増やして、技術を持つ業者をより多く育成する必要はあるが、今回のような案</p>	<p>&lt;事務局&gt;  それぞれの業者が、設計書をもとに積算をしているが、その結果であると受けとめている。</p> <p>業者選定については、指名業者選定要綱で、予定価格が500万円から1,000万円未満の電気工事はBランク業者で、業者数は5社以上と決められている。</p> <p>&lt;事務局&gt;  県内各市と同様な方法をとっている。具体的には、県の経営事項審査結果の数値に、本市での工事成績の評価点をプラスマイナスして出した数値によりランクづけを行っている。</p> <p>&lt;事務局&gt;  積算の結果、同じような価格となったものと思われる。</p> <p>Bランク業者は市内10社であるが、指名回数の平準化にも心がけており、今回の基準は5社以上という中で6社選定している。なお、基準では業者数を基準の1.5倍まで増やせるので7社までは選定できる。</p> <p>&lt;事務局&gt;  今後、入札担当の総務部とも協議して検討いたしたい。</p>
--	--	---

	<p>件については、指名業者数を増やすことを検討して欲しい。</p> <p>4. 合流式下水道改善事業 雨水吐口スクリーン設置工事  (入札方式:指名競争入札、発注担当課:下水道課、契約金額:19,320,000円)</p> <p>&lt;委員&gt;  下水道では、今後、市内各所にスクリーンを設置するのか。</p> <p>5. (仮称)保健センター設計業務委託  (入札方式:指名競争入札、発注担当課:建築住宅課、契約金額:25,255,650円)</p> <p>&lt;委員&gt;  大手の会社を指名しての入札となっているが、落札率(67.00%)が低い。詳細設計となる実施設計は今後どうするのか。</p> <p>&lt;委員&gt;  入札結果では、最低制限価格で抽選となっている。最低制</p>	<p>&lt;事務局&gt;  市内に、はけ口は11か所ある。桐生川へのはけ口が10か所、渡良瀬川へのはけ口が1か所ある。スクリーン設置工事は、5年間の緊急改善計画の中で行っており、今回が最初であり、来年度は2か所を予定している。  管理費がなるべくかからないような設計をしているが、大雨や台風のあとではスクリーンを清掃して管理している。</p> <p>&lt;事務局&gt;  基本設計も含めての実設計委託となっている。</p> <p>&lt;事務局&gt;  工事や工事関係の委託については、最低制限価格を設定して事前公</p>
--	---	--

<p>限価格は事前公表なのか。競争して落札しようという気が見えない業者も見受けられるが、業者選定はどう行ったのか。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>最低制限価格はどうやって設定したのか。積算をして設定したのか。設定にルールはあるのか。</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>最低制限価格で落札者をすんなりと決めていいのか。最低制限価格に、これ以下ではできないというはっきりした理由はないのか。</p> <p>6. 受変電設備更新工事 (入札方式:指名競争入札、発注担当課:水道局浄水課、契約金額:141,750,000円)</p> <p>&lt;委員&gt;</p> <p>金額が高額であるが、業者選定の理由は説明でわかった。参加業者8社の数はもっと増やせるのか。</p>	<p>表している。業者選定については、参加者のすべてが、ISOを取得している業者であり、市での業務実績のある業者を基本に選定している。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>最低制限価格は、一定の率で設定している。低入札価格調査制度で調査の基準としている最低の率67%を採用している。設定については、工事ごとに設定する方法と、定率で設定する方法と二通りあるが、全国的に最低制限価格を設定している市町村の状況では、3分の2以上が定率での設定を採用している。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>最低制限価格でなく、低入札価格調査制度というのもあり、この場合には、一定の基準以下の入札は調査することとなるが、本市では現在は行っていない。</p> <p>&lt;事務局&gt;</p> <p>業者選定については、本市に電気及び電気通信の業種登録をしている業者で、元宿浄水場での工事实績のある市外業者と、市内のAランク業者を選定した。電気及び電気通信の登録を行っている市内のAランク業者は2社しかなく、市外での工事实績のある会社は6社なので、現状では8社し</p>
---	---

	<p>&lt;委員&gt; 市内業者はどこか。</p> <p>7. 桐生市元宿浄水場ほか2箇所アスベスト除去等工事 (入札方式:条件付き一般競争入札、発注担当課:水道局浄水課、契約金額:38,010,000円)</p> <p>&lt;委員&gt; アスベスト除去という特殊な工事だと思うが、資格要件はどのようなものがあるか。</p> <p>&lt;委員&gt; 公告は、どう行うのか。業者への周知はしているか。</p>	<p>かない。</p> <p>&lt;事務局&gt; 〇〇電気と〇〇電気の2社です。</p> <p>&lt;事務局&gt; 公告にあるとおり、関係法律での規制に当てあまり、遵守できる者が要件となる。</p> <p>&lt;事務局&gt; 公告は、市のホームページ、庁舎掲示場、契約担当課窓口で行っているほか、業界紙にも掲載されているので個々の業者への周知はしていない。</p>
--	---	--